

令和 6年 6月 11日

令和6年度 大学院短期招聘研究員の研究報告

國學院大學大学院国際学術交流事業による、短期招聘研究員の招聘に伴う研究活動について、下記のとおりご報告いたします。

招聘者：法学 研究科 教授 藤嶋 亮
招聘研究員：Florin Nicolae Feşnic (バベシユ・ボヤイ大学 研究員)

招聘期間：令和 6年 4月 14日 (日) ~ 令和 6年 5月 11日 (土)

学術交流報告(講演会等)①：

実施日時：5月9日(木) 14:30~15:40

実施場所：Zoom 開催 (遠隔講演会)

タイトル：“Elections and Political Parties in Romania in Comparative Perspective”

参加対象：本学教員・大学院生

概要：ルーマニアの有権者の投票行動について、ハンガリーやアメリカ、日本など他国の事例との比較を踏まえつつ、また堅実な計量分析の成果に基づき、興味深い報告が行われ、ルーマニアを始め世界各国で重要な選挙が集中する2024年の政治動向に関する有益な示唆が得られた。

学術交流報告(講演会等)②：

実施日時：5月9日(木) 16:10~17:30

実施場所：Zoom 開催 (遠隔講演会)

タイトル：“Romania and the EU”

参加対象：本学教員・大学院生・学部学生

概要：ルーマニアのチャウシェスク時代、体制転換期、EU加盟前後の時期における政治的・社会的変容について、講演者自身の体験・エピソードを交えた興味深い解説がなされ、とりわけEU加盟の具体的な(とりわけプラスの)影響やEUの役割についての多面的な検討が行われた。質疑応答では、学部生が積極的に発言し(8名が質問)、活発な議論が行われた。

学術交流報告(講演会等)③：

実施日時：5月10日(金) 13:00~14:20

実施場所：Zoom 開催 (遠隔講演会)

タイトル：“Measures against the COVID-19 Pandemic and Political Orientation”

参加対象：本学教員・大学院生・学部学生

概要：主としてルーマニア及びアメリカにおける新型コロナウイルス感染症対策・ワクチン接種と政治的傾向の関係について、データに基づく興味深い解説がなされ、科学的リテラシーや市民教育、メディアの役割の重要性が浮き彫りとなった。